

3. 河川整備の実施に関する事項

3.1 河川工事の目的，種類及び施行の場所並びに

河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要

3.1.1 河川工事の施行の場所

河川工事の施行の場所は，下表に示す区間とします。

表-3.1 対象河川及び河川改修区間

河川名	本支川の別	位置	区間延長 (km)
馬洗川	一次(支)	滝川合流点上流 0.1km から檜の川合流点上流 0.1km までの 1.2km 区間	1.2
		戸張川合流点から水口橋までの 3.7km 区間	3.7
三玉川	二次(支)	玉水橋から六通橋上流 0.2km までの 0.4km 区間	0.4
国兼川	二次(支)	大当 2 号橋下流 0.1km から庄原市上原町字林正地 先までの 12.0km 区間	12.0
大谷川 (三次市)	二次(支)	馬洗川合流地点畠敷用水路交差部から新組橋上流 0.1km までの 1.5km 区間	1.5
井田川	二次(支)	J R 福塩線下流から立泉寺橋までの 0.4km 区間	0.4
北溝川	一次(支)	国道 183 号から国道 375 号付近までの 0.8km 区間	0.8

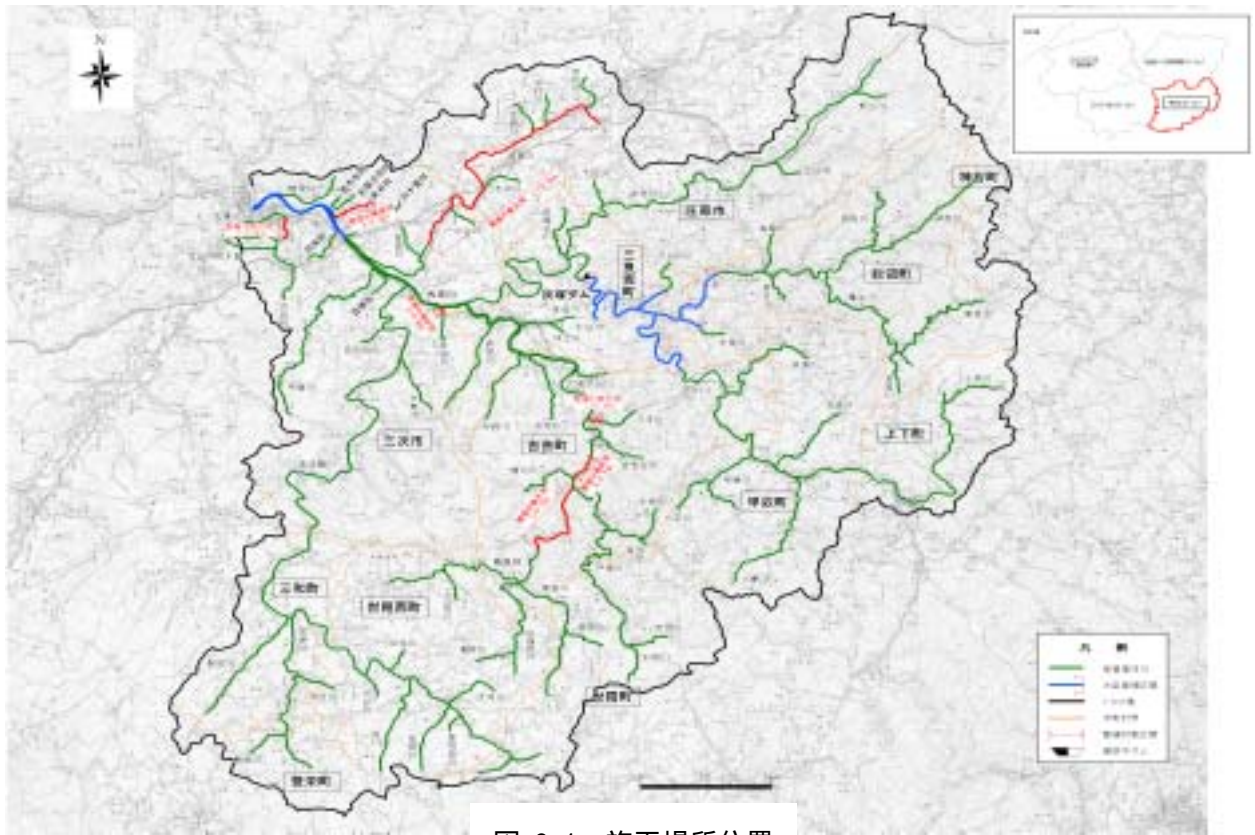


圖 2-4 研究場所位置

3.1.2 河川工事の目的，種類及び河川管理施設の機能の概要

(1) 馬洗川

馬洗川（丸田工区）

河川改修は，滝川合流点上流 0.1km から檜の川合流点上流 0.1km までの 1.2km 区間を実施し，下流部において目標の計画高水流量 $460\text{m}^3/\text{s}$ が安全に流下できるよう，主に河床掘削により必要断面を確保します。

流量配分図，改修平面図，縦断面図，横断面図を図-3.2 に示します。

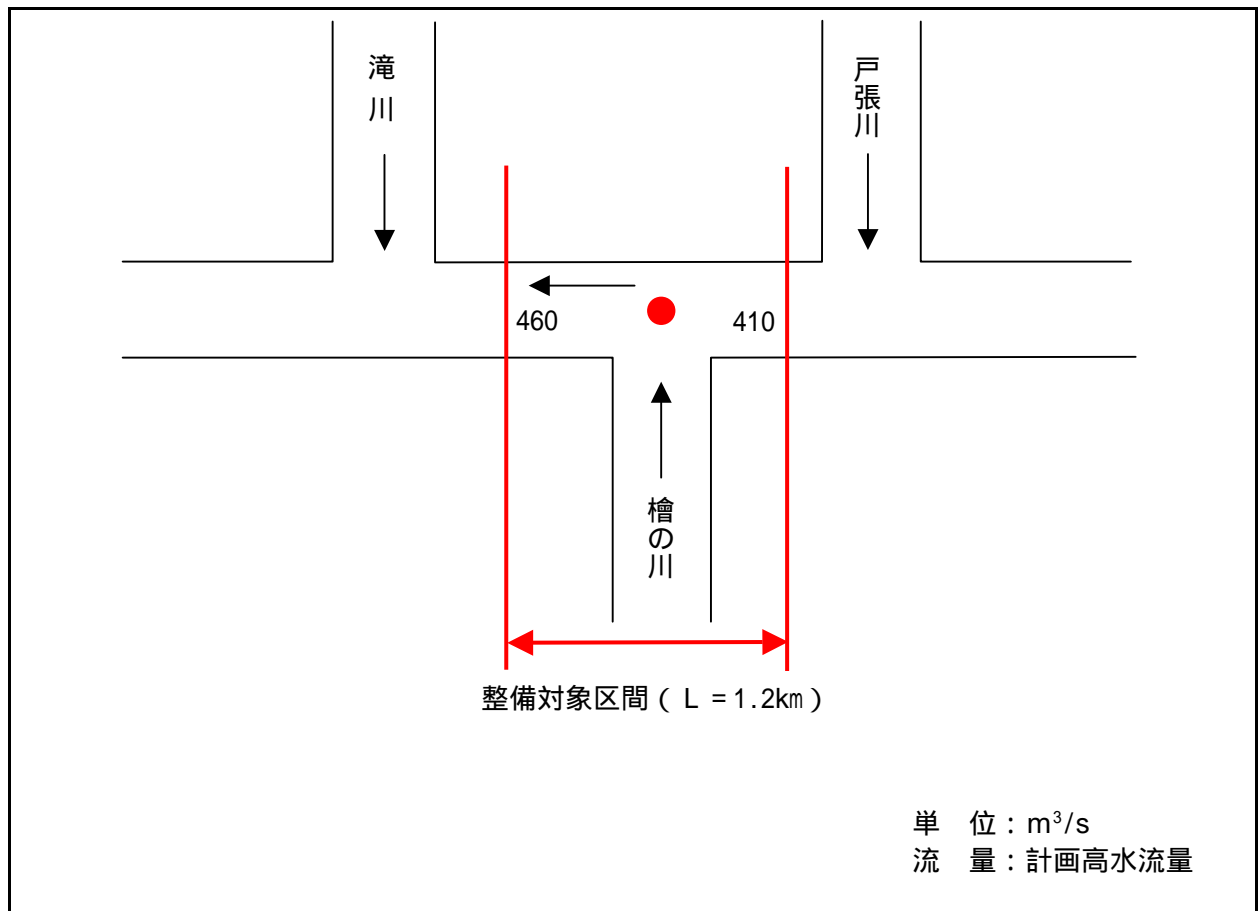


図-3.2(1) 馬洗川(丸田工区)流量配分図

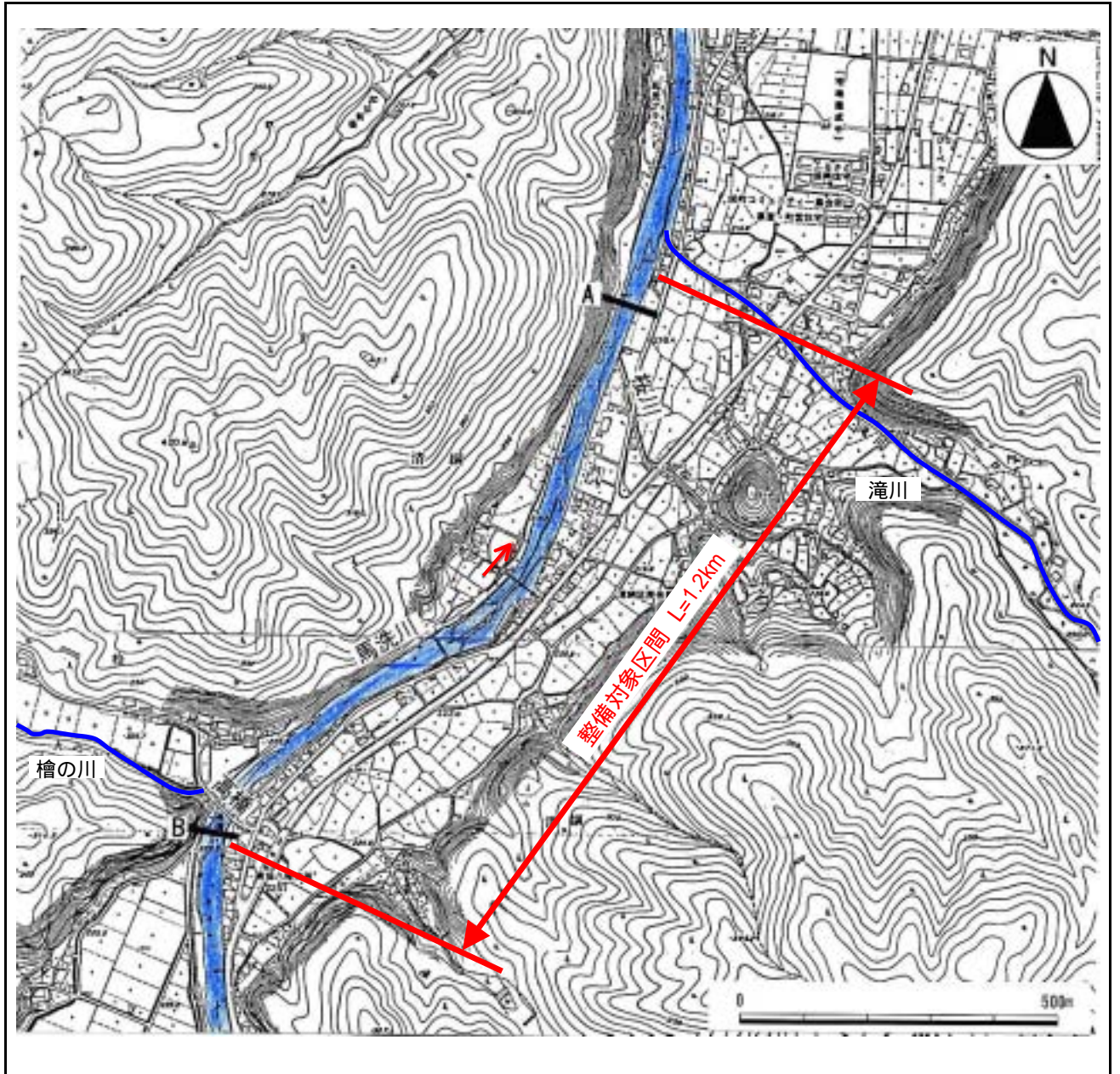


図-3.2(2) 馬洗川（丸田工区）平面図

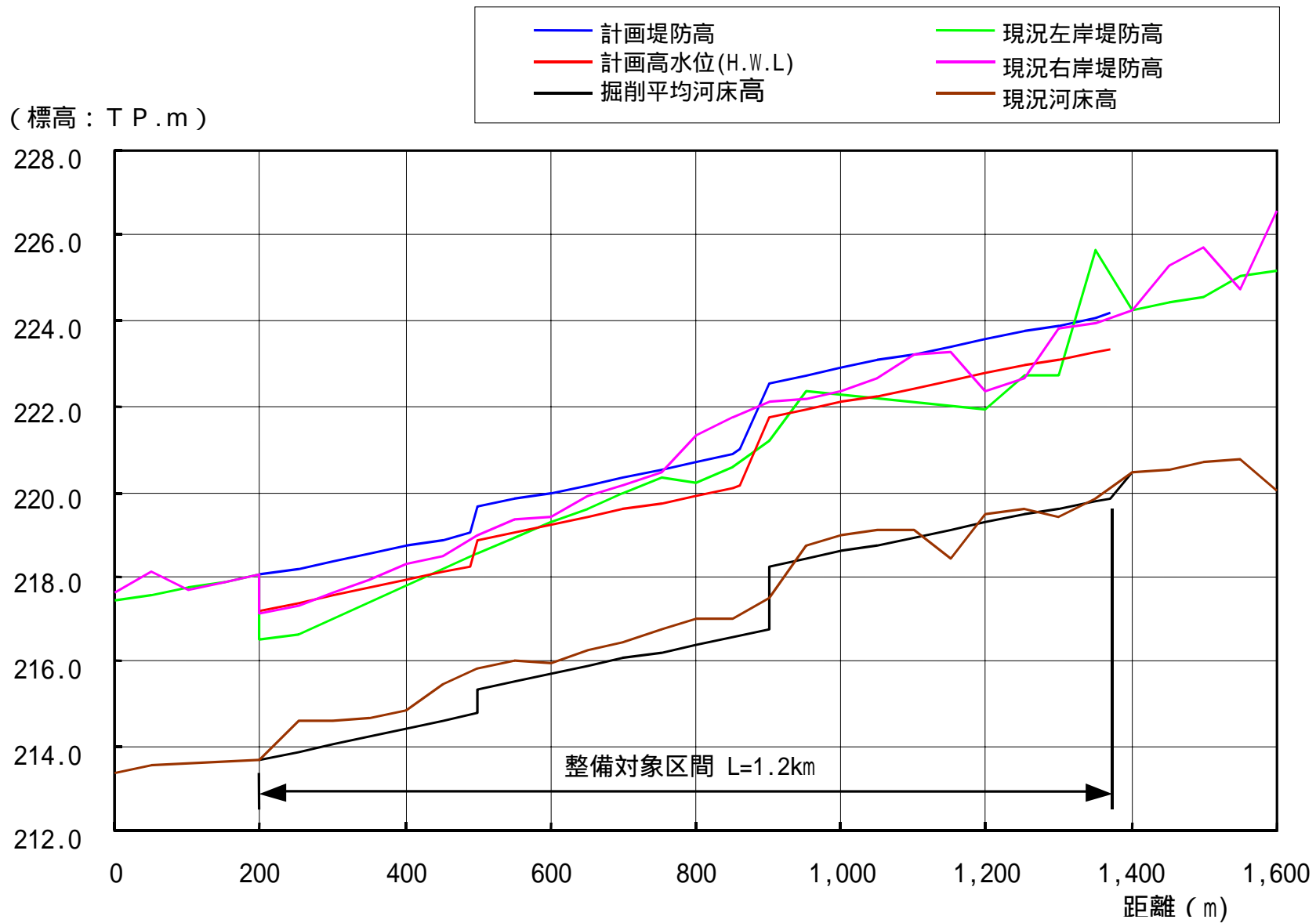


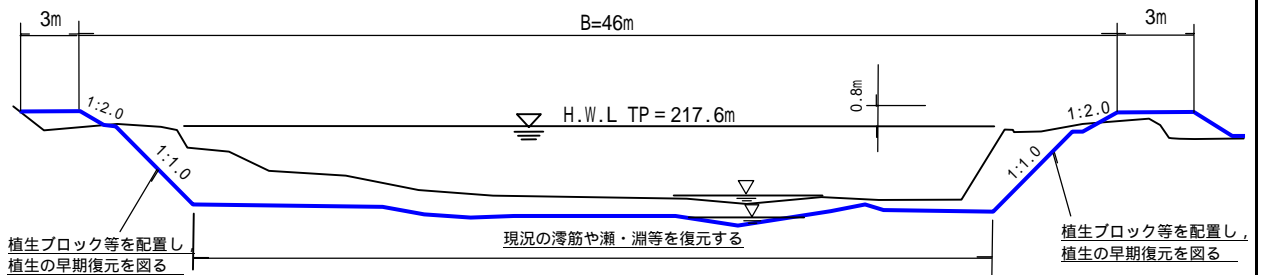
図-3.2(3) 馬洗川(丸田工区)縦断面図

馬洗川 横断面図

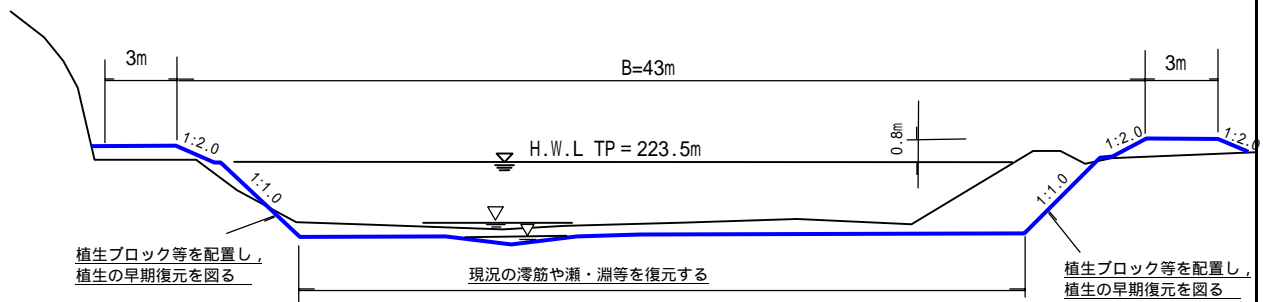
凡 例

- : 現況の川の形
- : 整備を行う形

A 桜川合流点より 90m 下流



B 高橋より 35m 上流



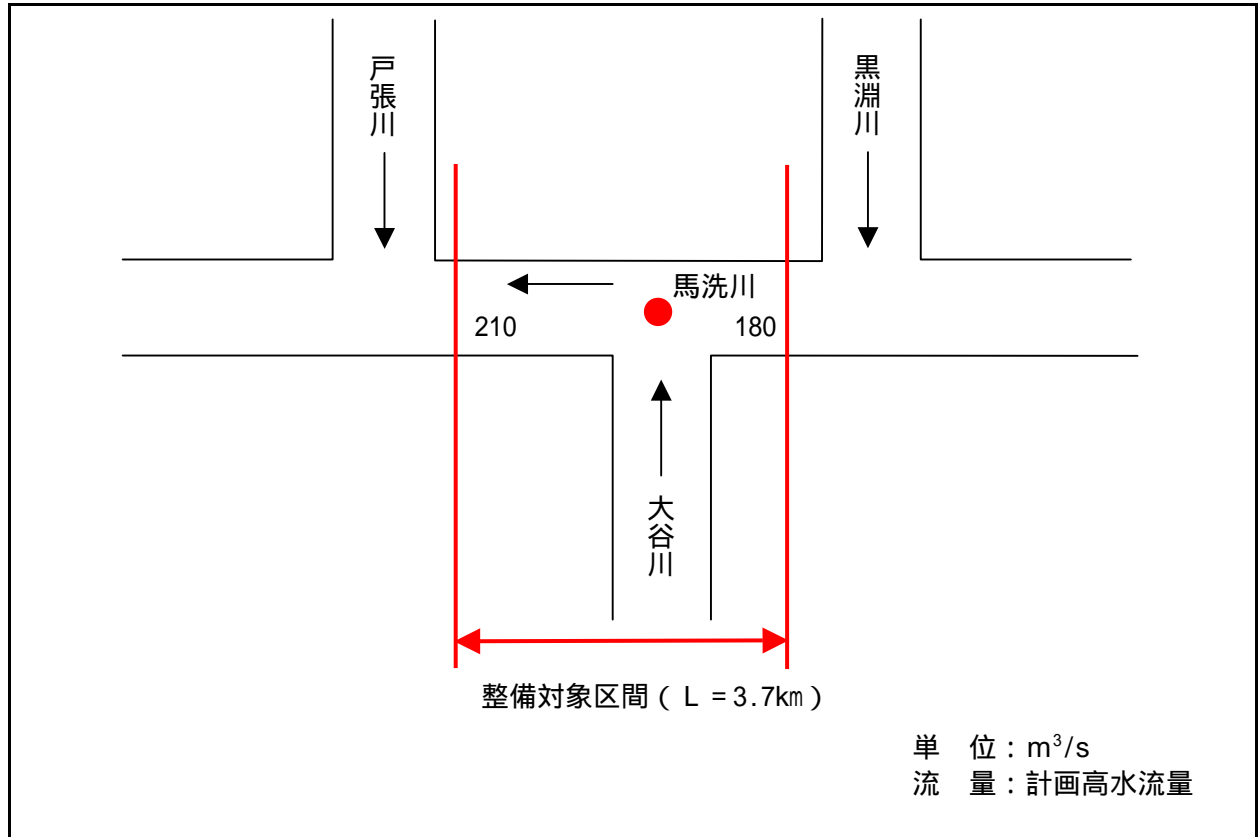
断面図は、上流から下流を眺めたときの形状です。

図-3.2(4) 馬洗川(丸田工区)横断面図

馬洗川（下城工区）

河川改修は，戸張川合流点から水口橋までの 3.7km 区間を実施し，戸張川合流点上流において目標の計画高水流量 $210\text{m}^3/\text{s}$ が安全に流下できるよう，主に河床掘削により必要断面を確保します。

流量配分図，改修平面図，縦断面図，横断面図を図-3.3 に示します。



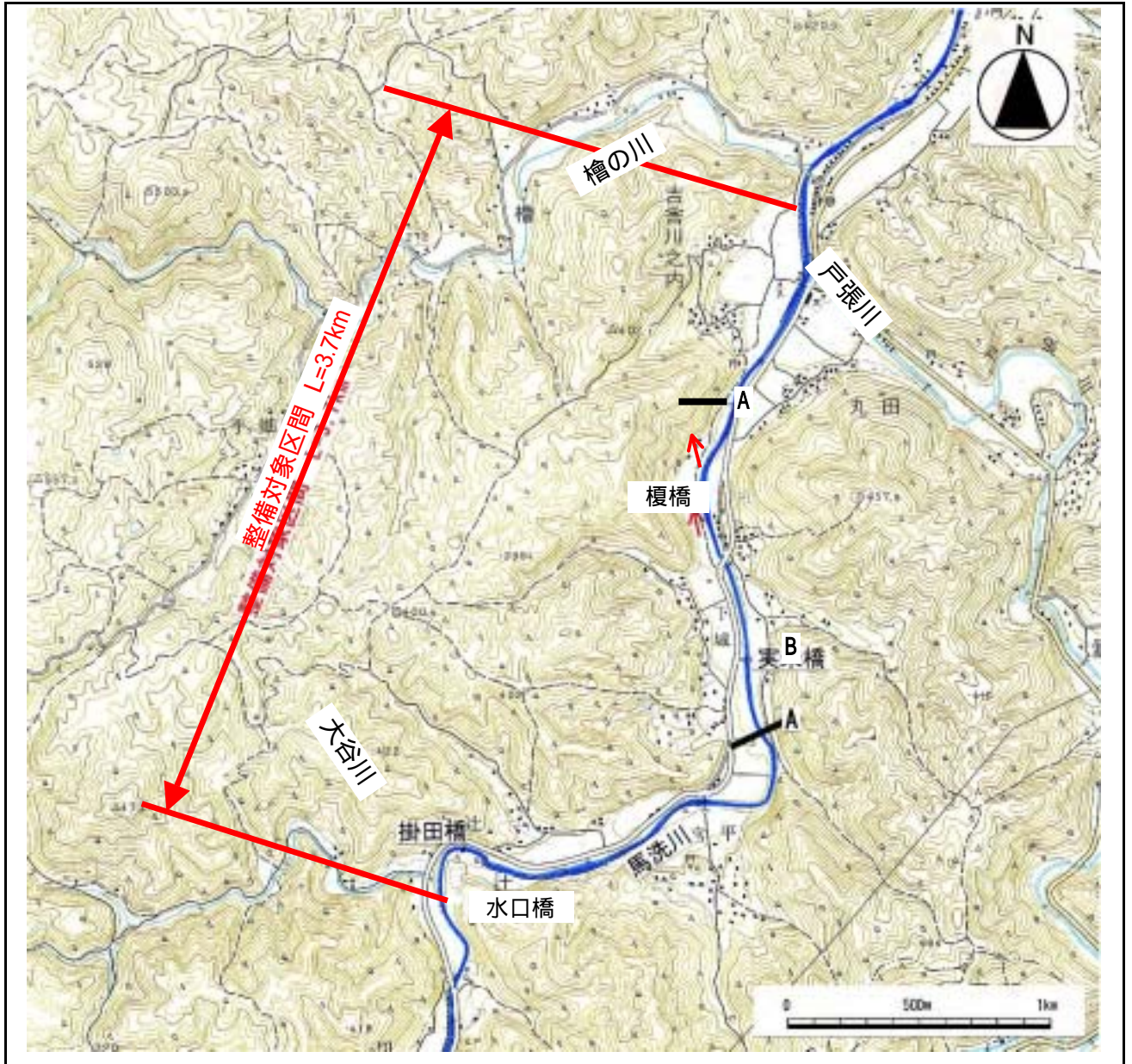


図-3.3(2) 馬洗川（下城工区）平面図

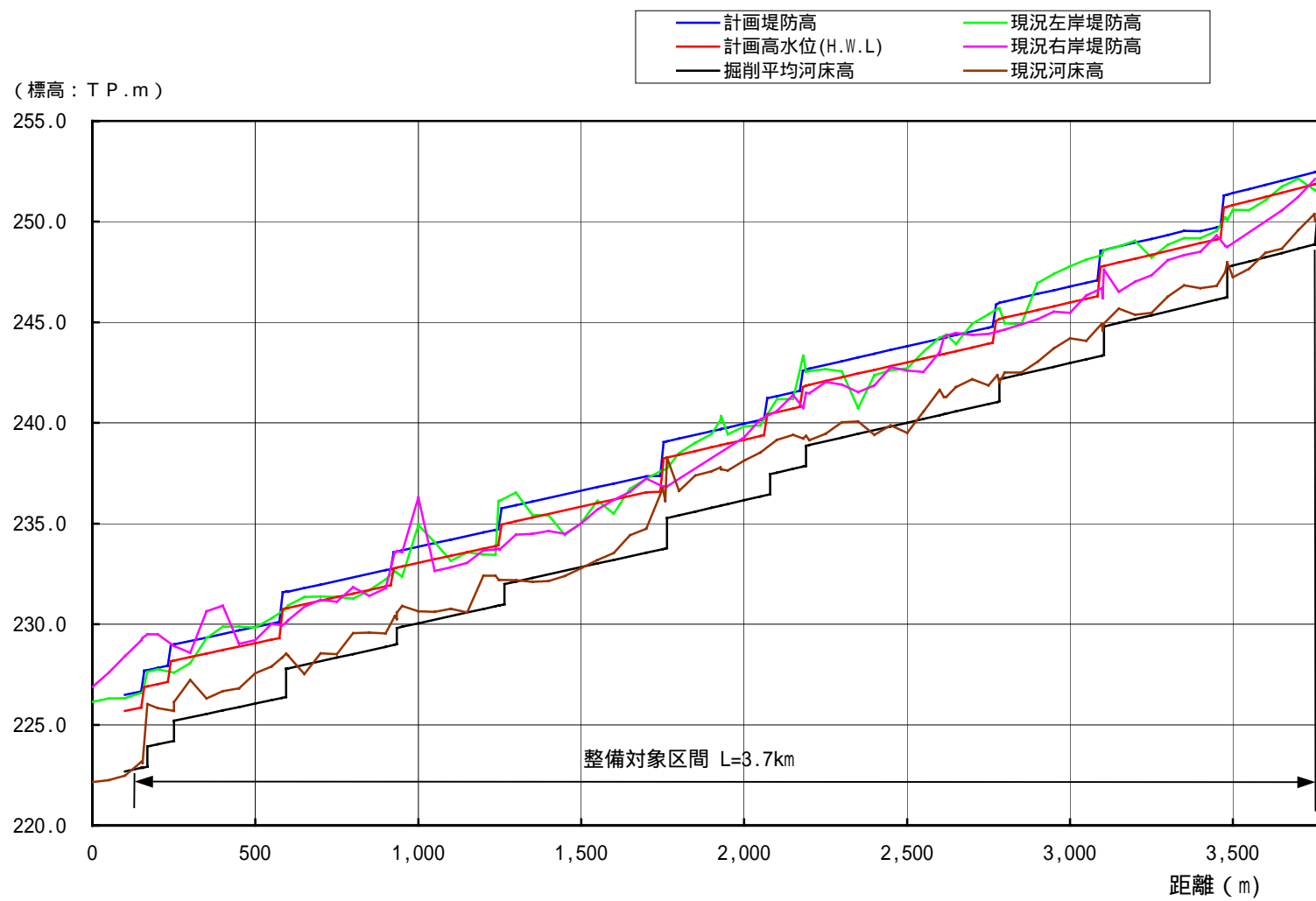
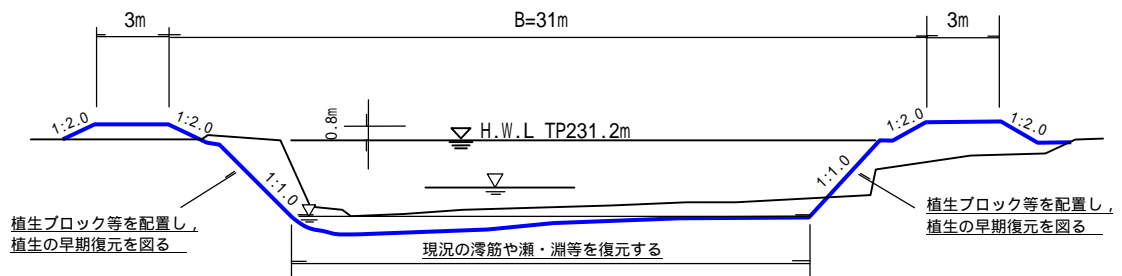


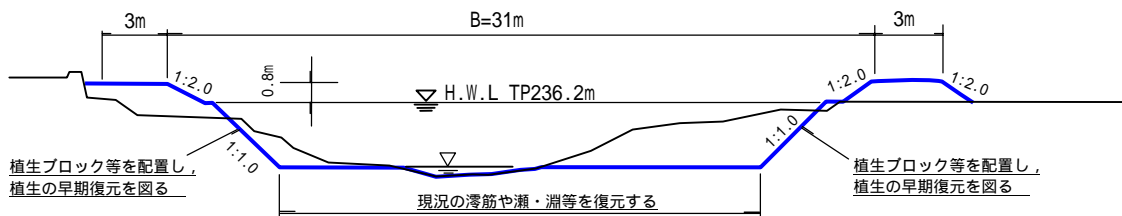
図-3.3(3) 馬洗川(下城工区)縦断面図

馬洗川 横断面図

A 榎橋より 330m 下流



B 実末橋より 220m 上流



凡 例	
—	: 現況の川の形
—	: 整備を行う形

断面図は、上流から下流を眺めたときの形状です。

図-3.3(4) 馬洗川（下城工区）横断面図

(2) 三玉川

河川改修は、玉水橋から六通橋上流 0.2km までの 0.4km 区間を実施し、目標の計画高水流量 $53\text{m}^3/\text{s}$ が安全に流下できるよう、主に河床掘削により必要断面を確保します。

J R 福塩線橋梁の下流に親水護岸の整備を行ない、人々に潤いとふれあいを与える水辺づくりを実施します。

流量配分図、改修平面図、縦断面図、横断面図を図-3.4 に示します。

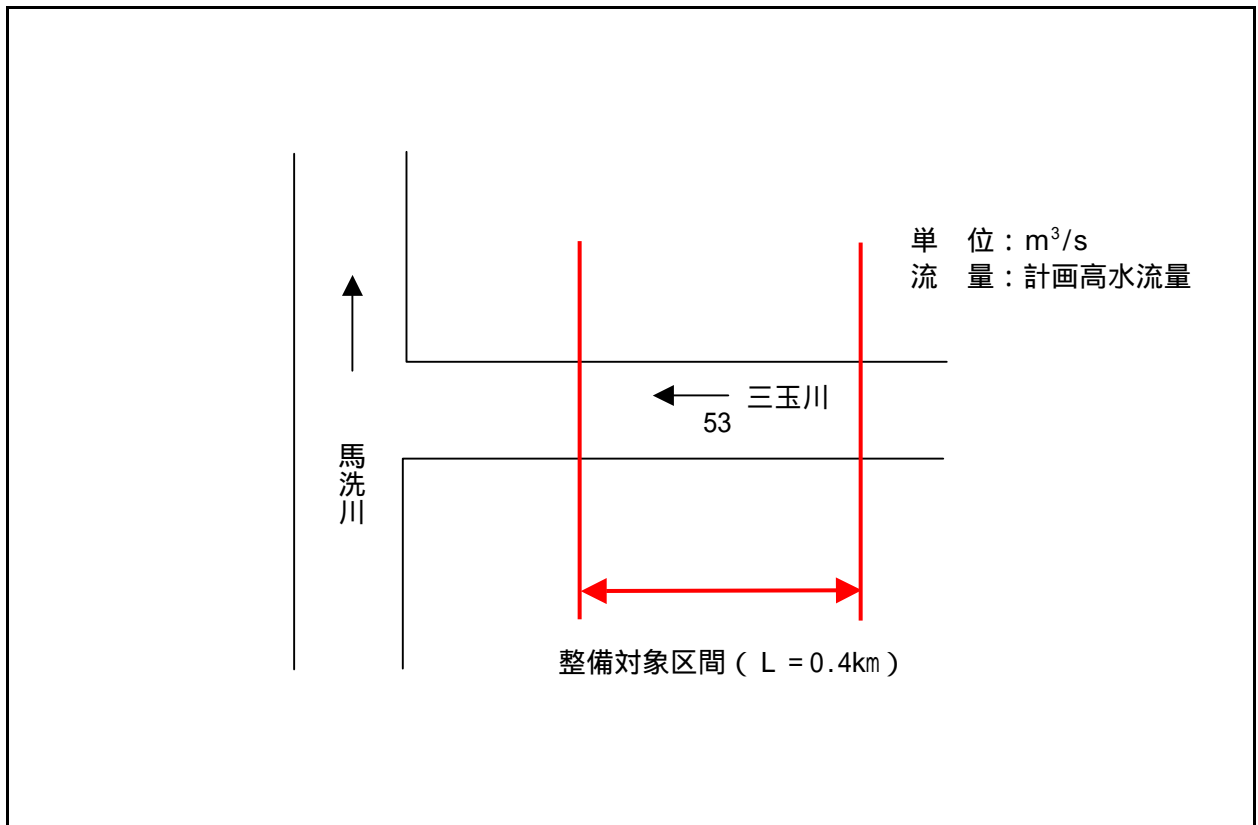


図-3.4(1) 三玉川流量配分図

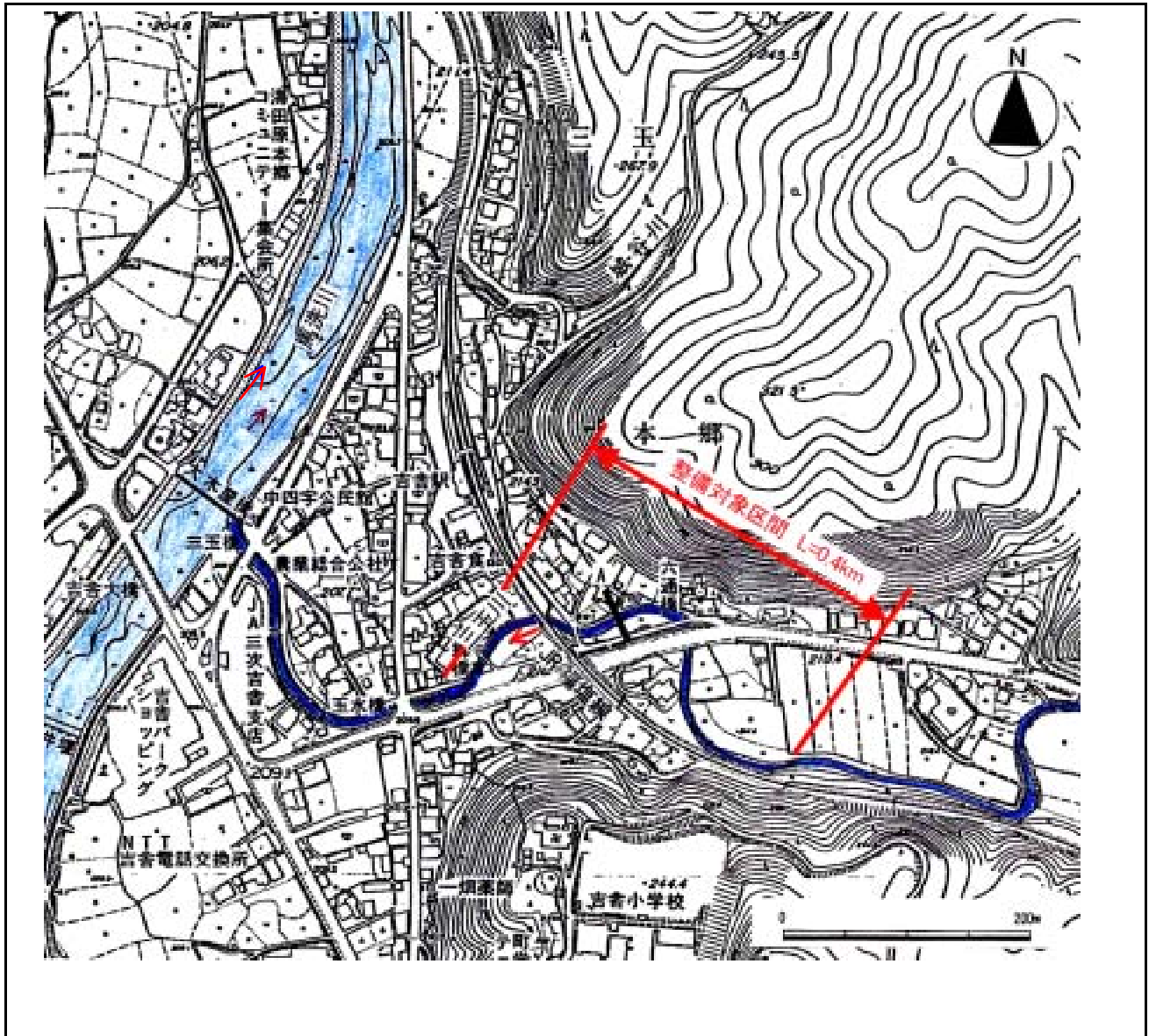


图-3.4(2) 三玉川平面图

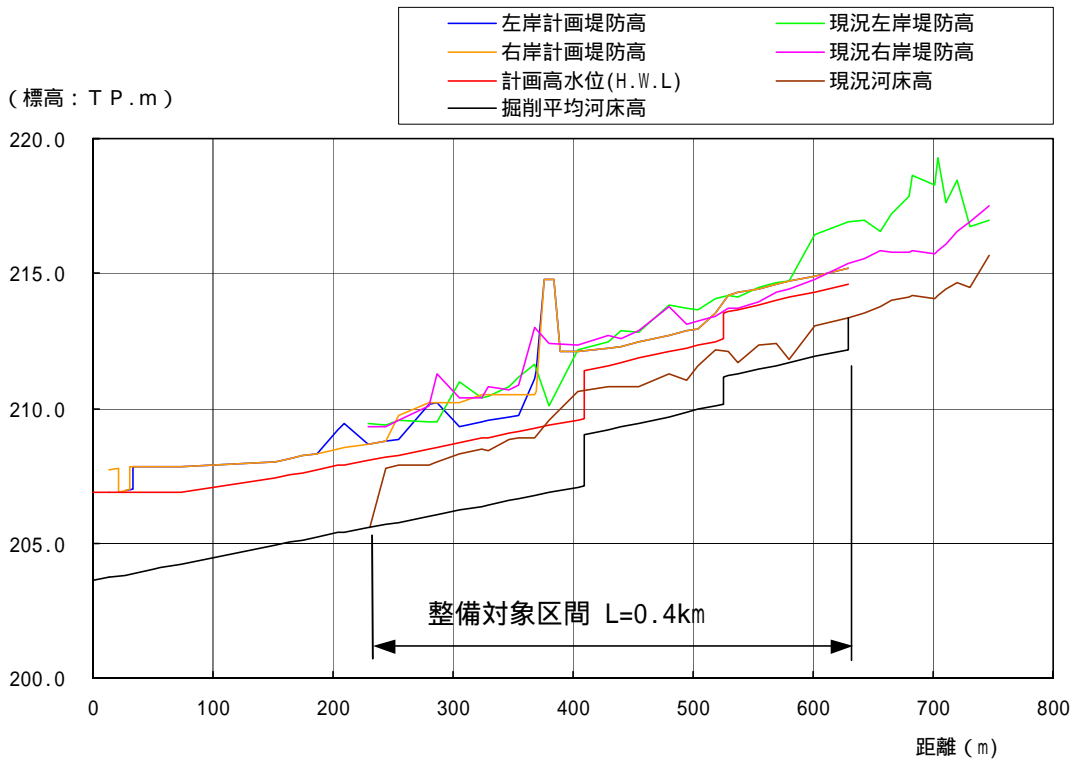
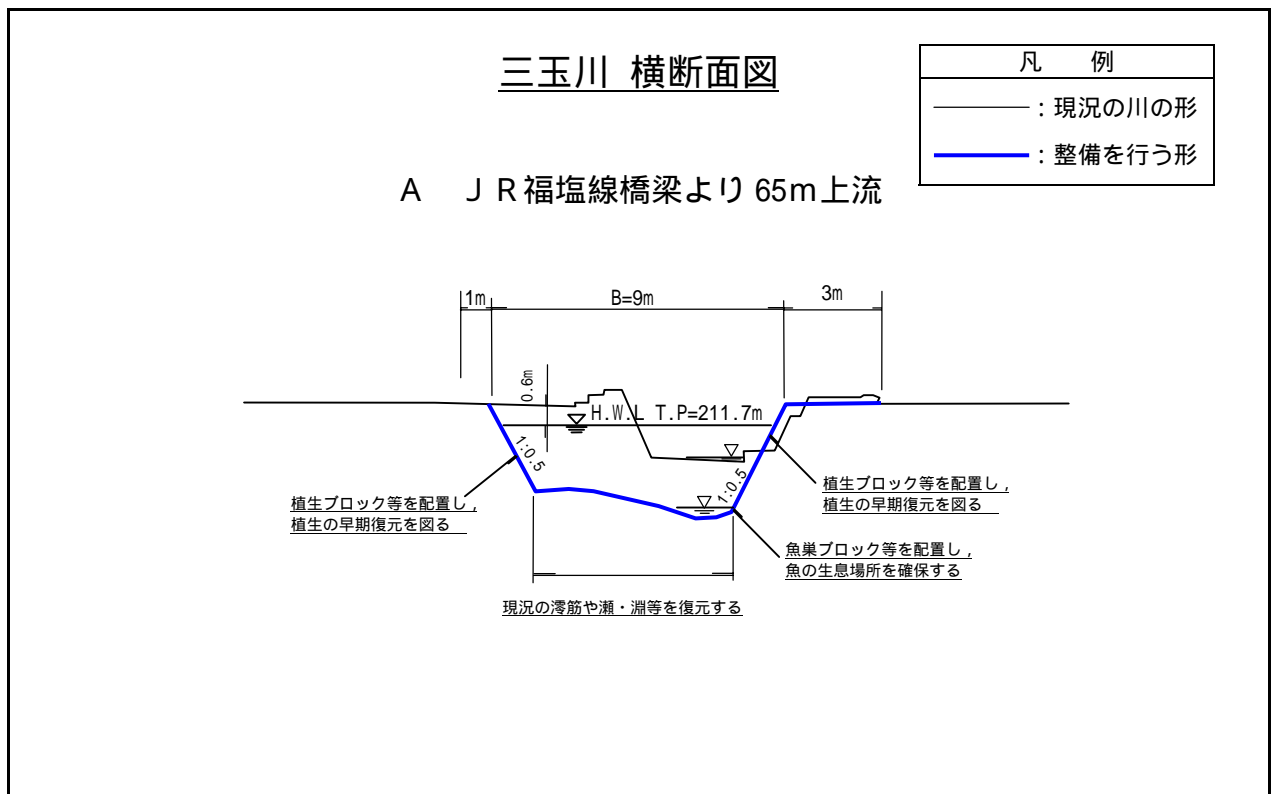


図-3.4(3) 三玉川縦断面図



断面図は、上流から下流を眺めたときの形状です。

図-3.4(4) 三玉川横断面図

(3) 国兼川

河川改修は、大当 2 号橋下流 0.1km から庄原市上原町字林正までの 12.0km 区間を実施し、目標の計画高水流量 $250\text{m}^3/\text{s}$ (菅田川合流前)が安全に流下できるよう、主に河床掘削と引堤により、必要断面を確保します。

流量配分図、改修平面図、縦断面図、横断面図を図-3.5 に示します。

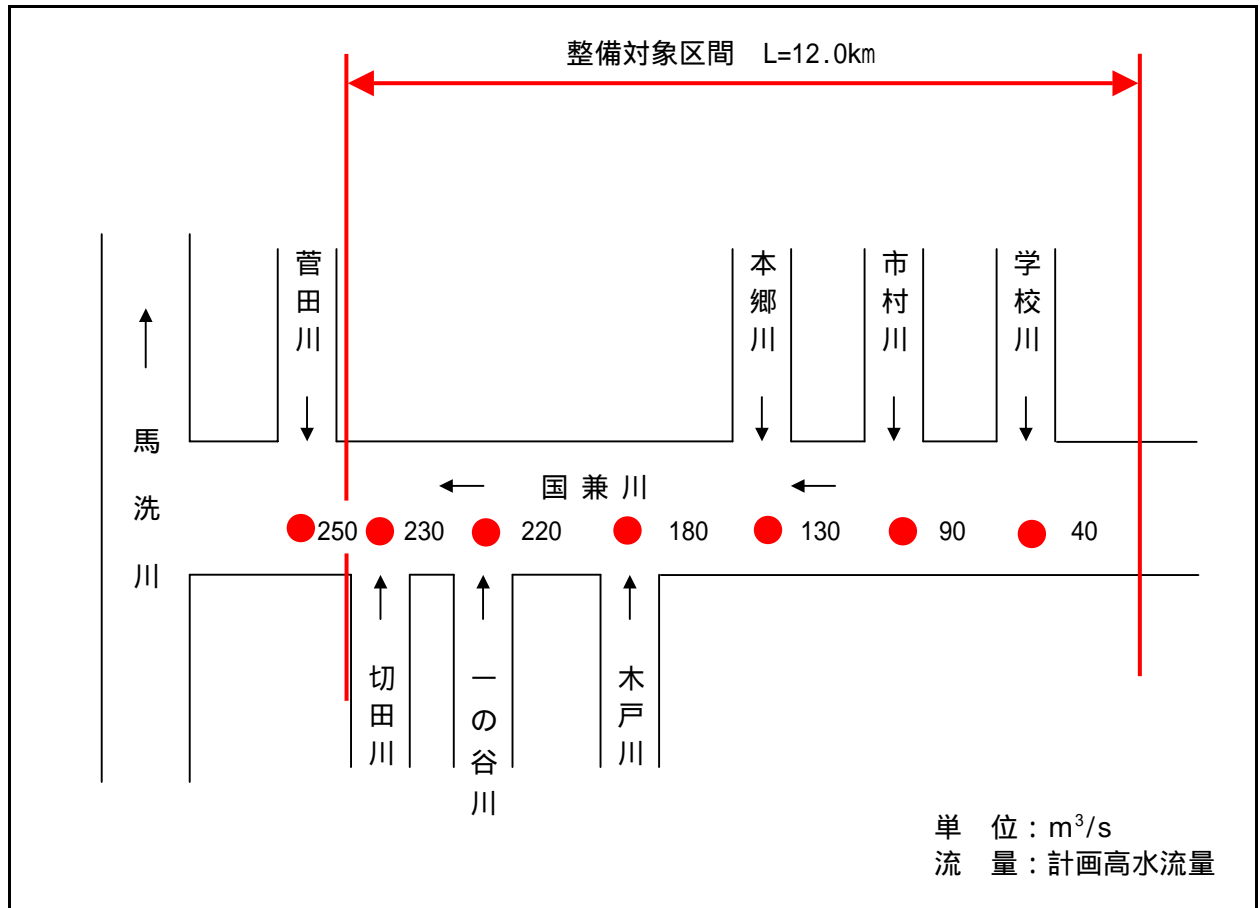


図-3.5(1) 国兼川流量配分図

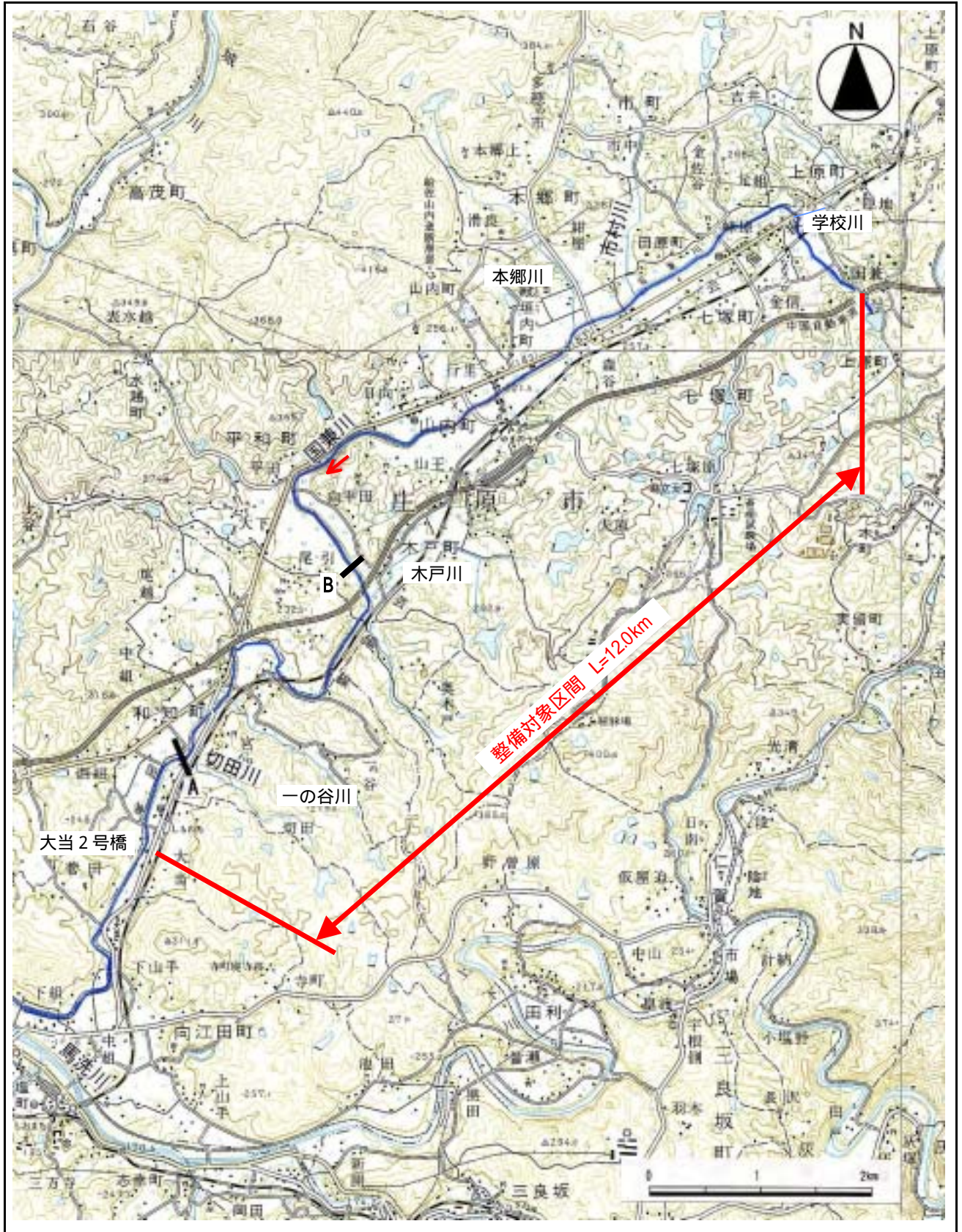
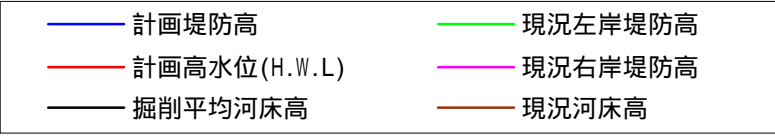


図-3.5(2) 国兼川平面図



(標高：T.P.m)

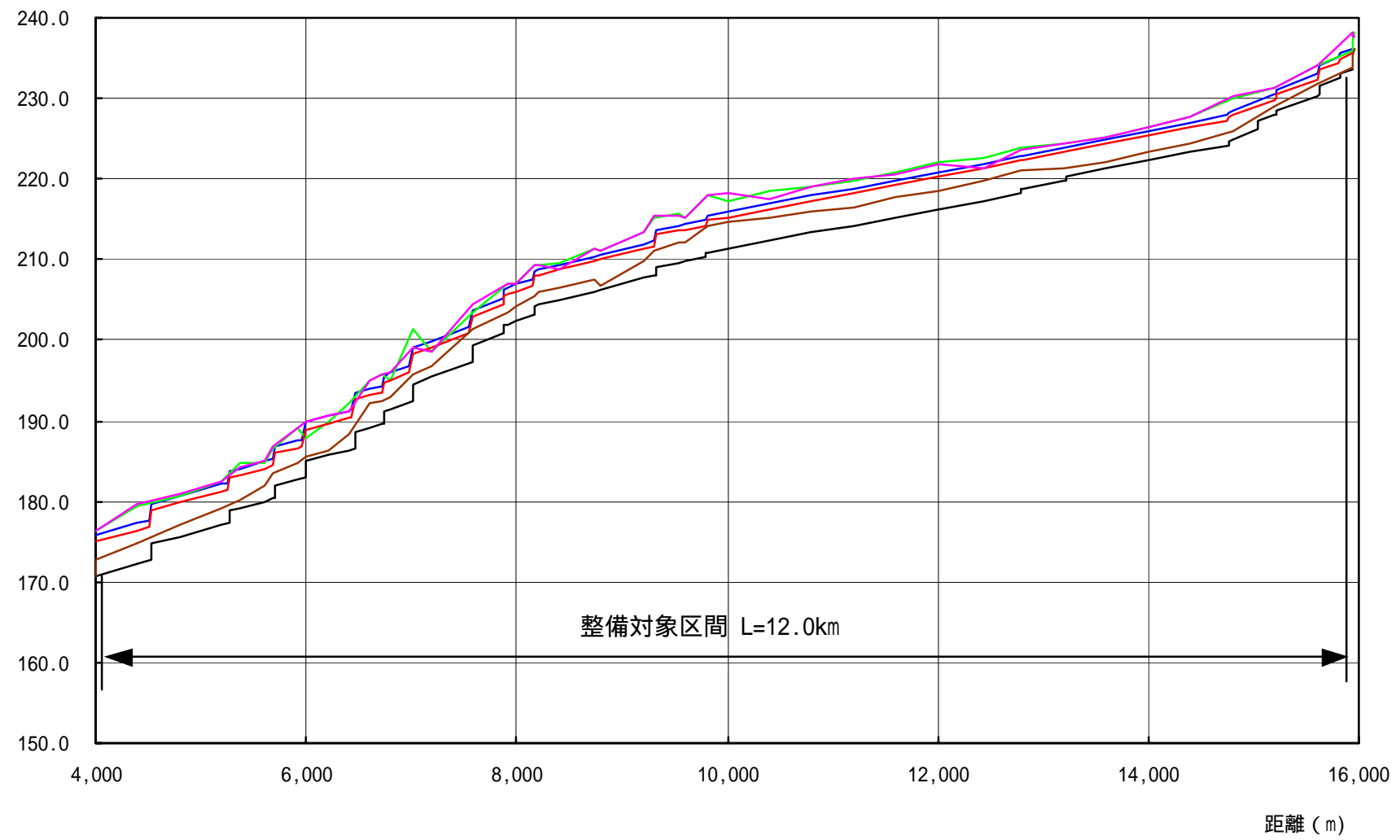
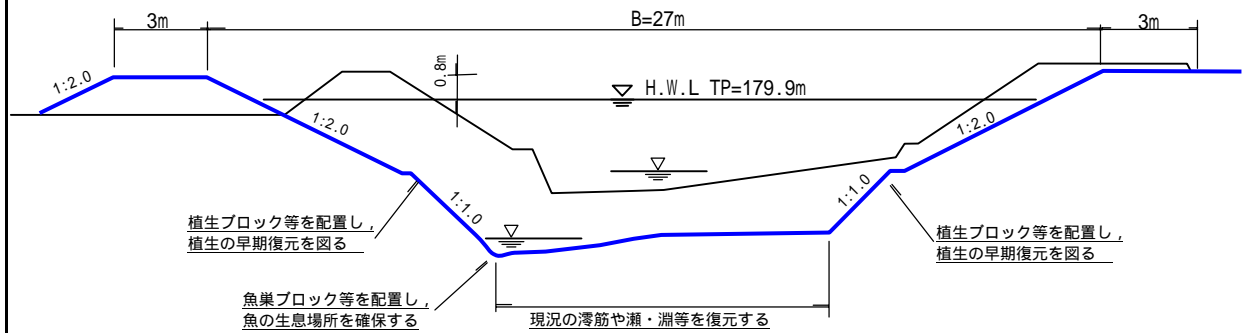


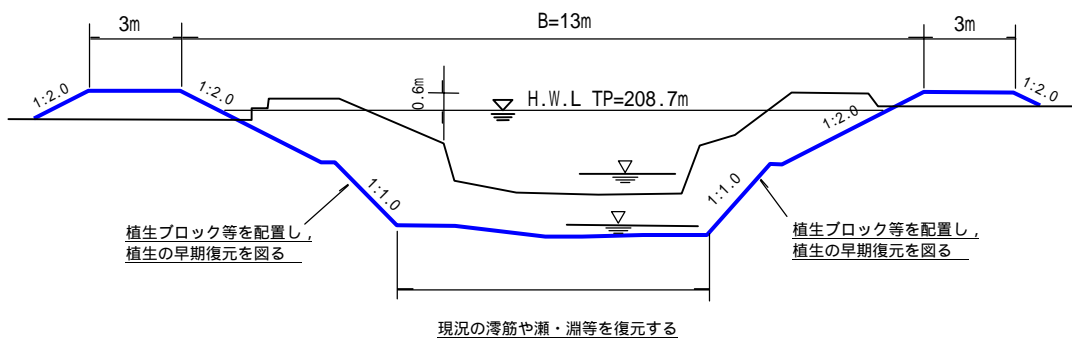
図-3.5(3) 国兼川縦断面図

国兼川 横断面図

A 切田川合流点より 70m 下流



B 木戸川合流点より上流 285m



凡 例
——— : 現況の川の形
——— : 整備を行う形

断面図は、上流から下流を眺めたときの形状です。

図-3.5(4) 国兼川横断面図

(4) 大谷川

河川改修は，馬洗川合流地点畠敷用水路交差部から新組橋上流 0.1km までの 1.5km 区間を実施し，目標の計画高水流量 $30\text{m}^3/\text{s}$ が安全に流下できるよう，主に河床掘削により必要断面を確保します。

流量配分図，改修平面図，縦断面図，横断面図を図-3.6 に示します。

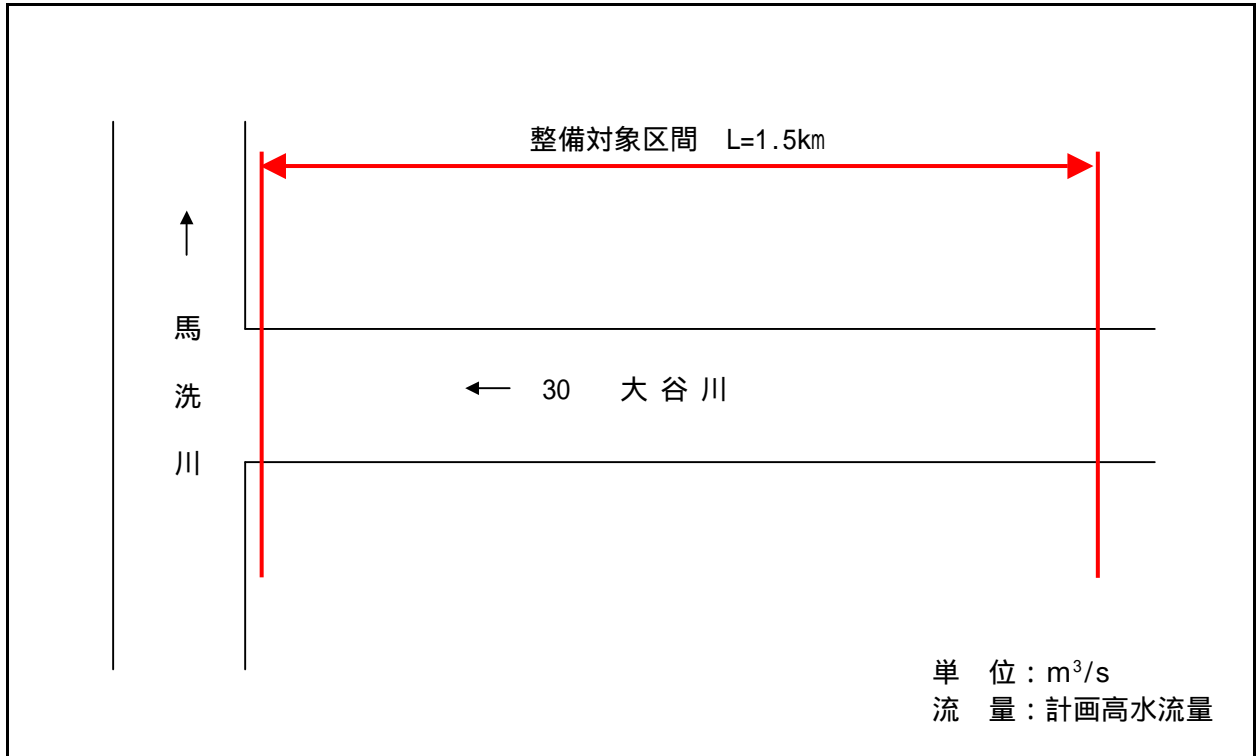


図-3.6(1) 大谷川流量配分図

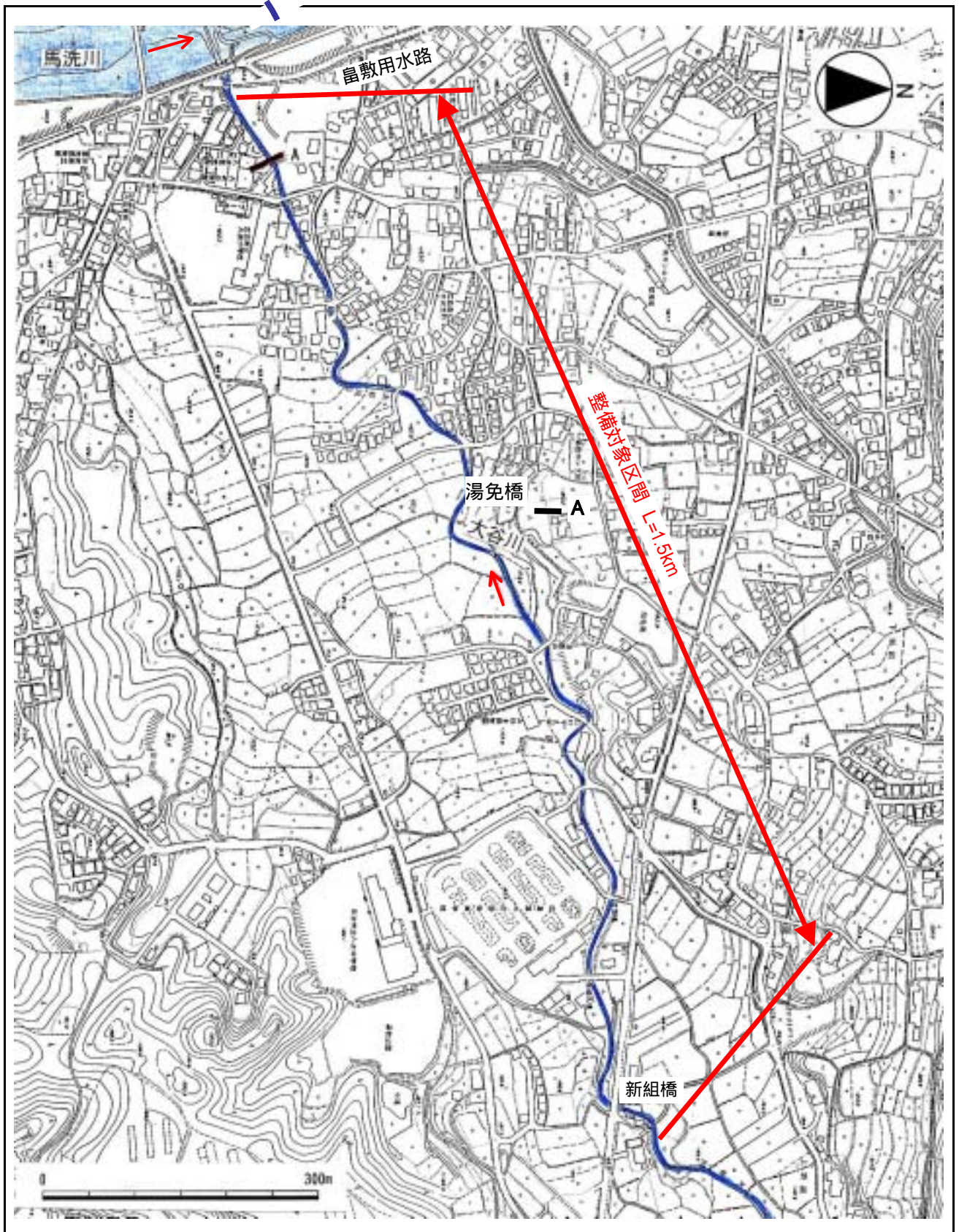


図-3.6(2) 大谷川平面図

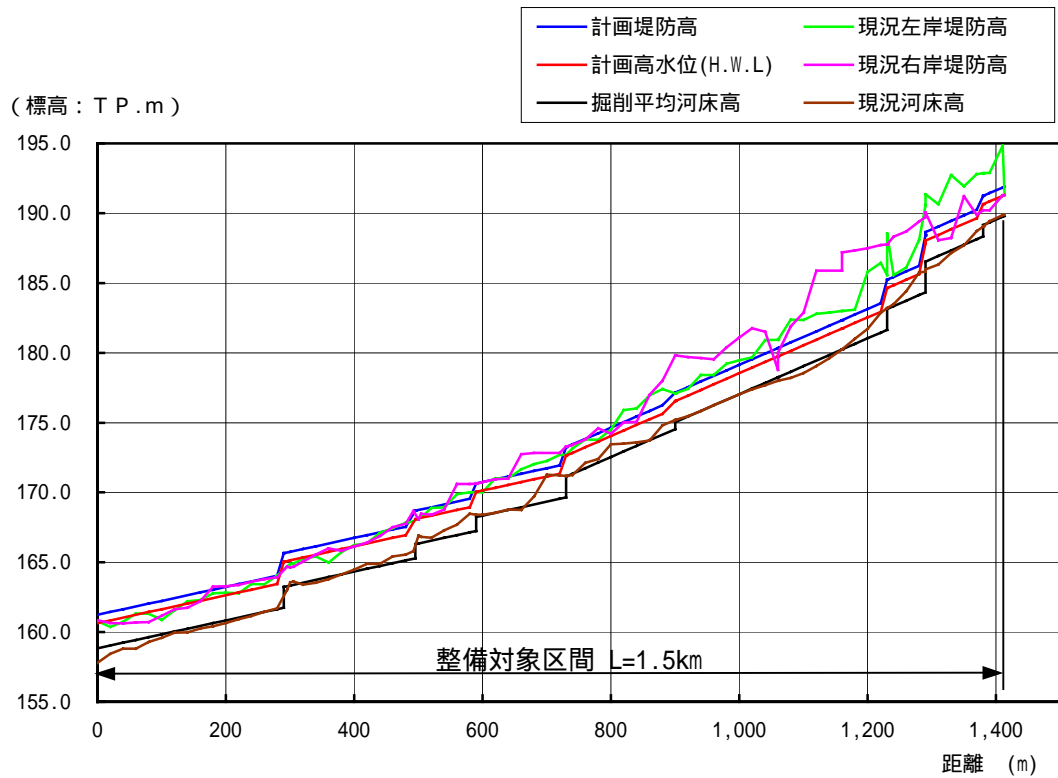
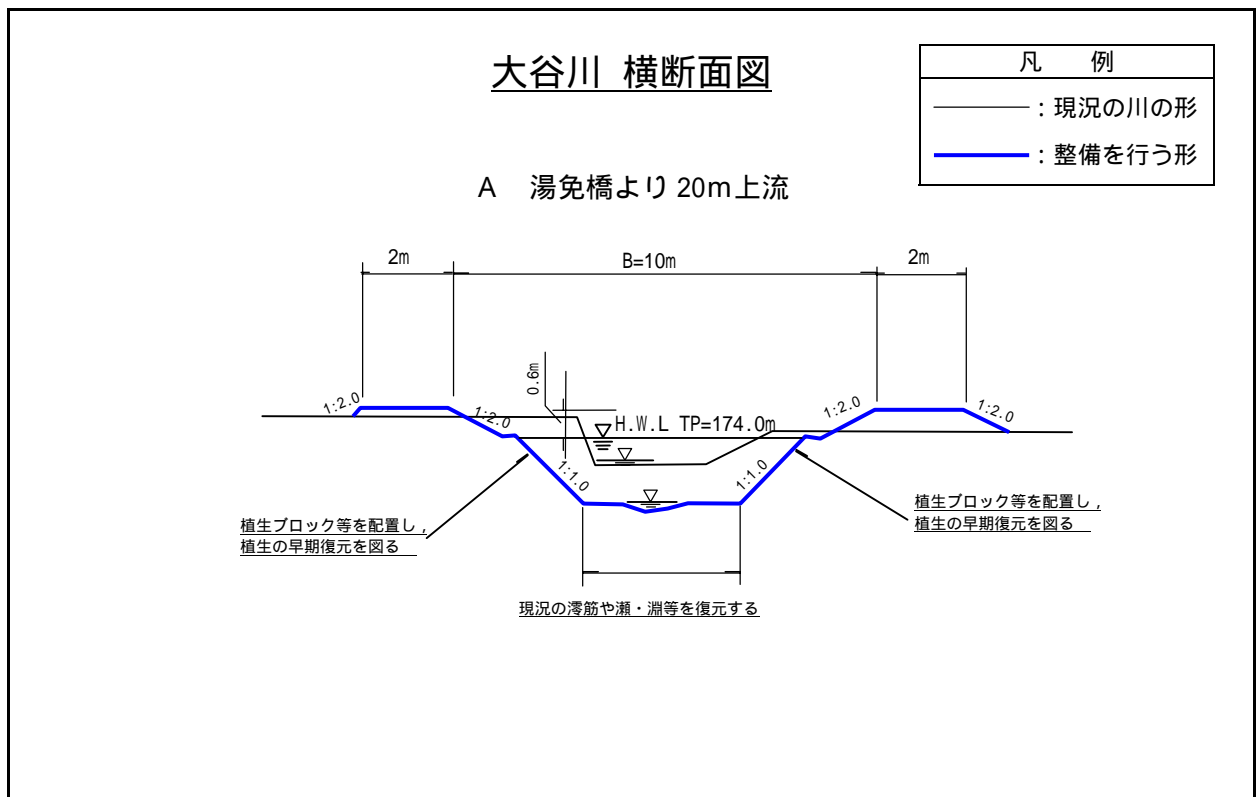


図-3.6(3) 大谷川縦断面図



断面図は、上流から下流を眺めたときの形状です。

図-3.6(4) 大谷川横断面図

(5) 井田川

河川改修は、JR 福塩線下流から立泉寺橋までの 0.4km 区間を実施し、目標の計画高水流量 $65\text{m}^3/\text{s}$ が安全に流下できるよう、主に築堤により必要断面を確保します。右岸を締切堤とし、岡田地区における家屋浸水被害を防止します。

流量配分図、改修平面図、縦断面図、横断面図を図-3.7 に示します。

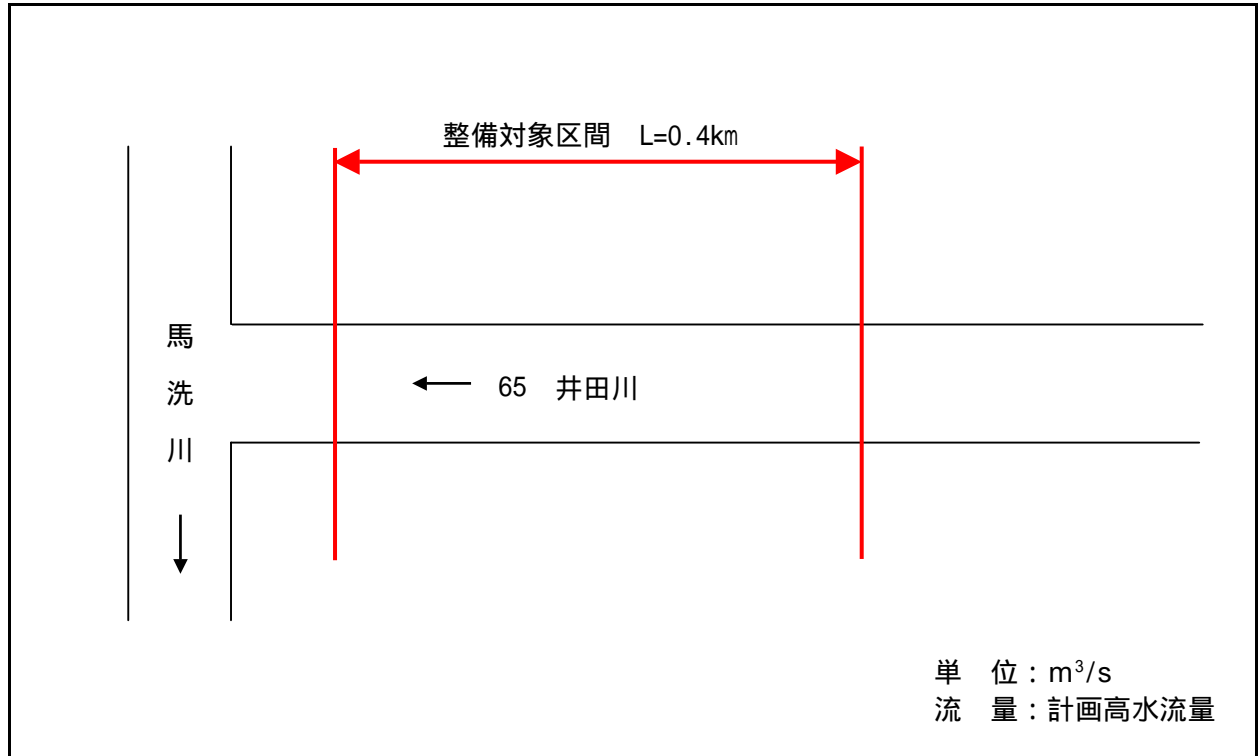


図-3.7(1) 井田川流量配分図

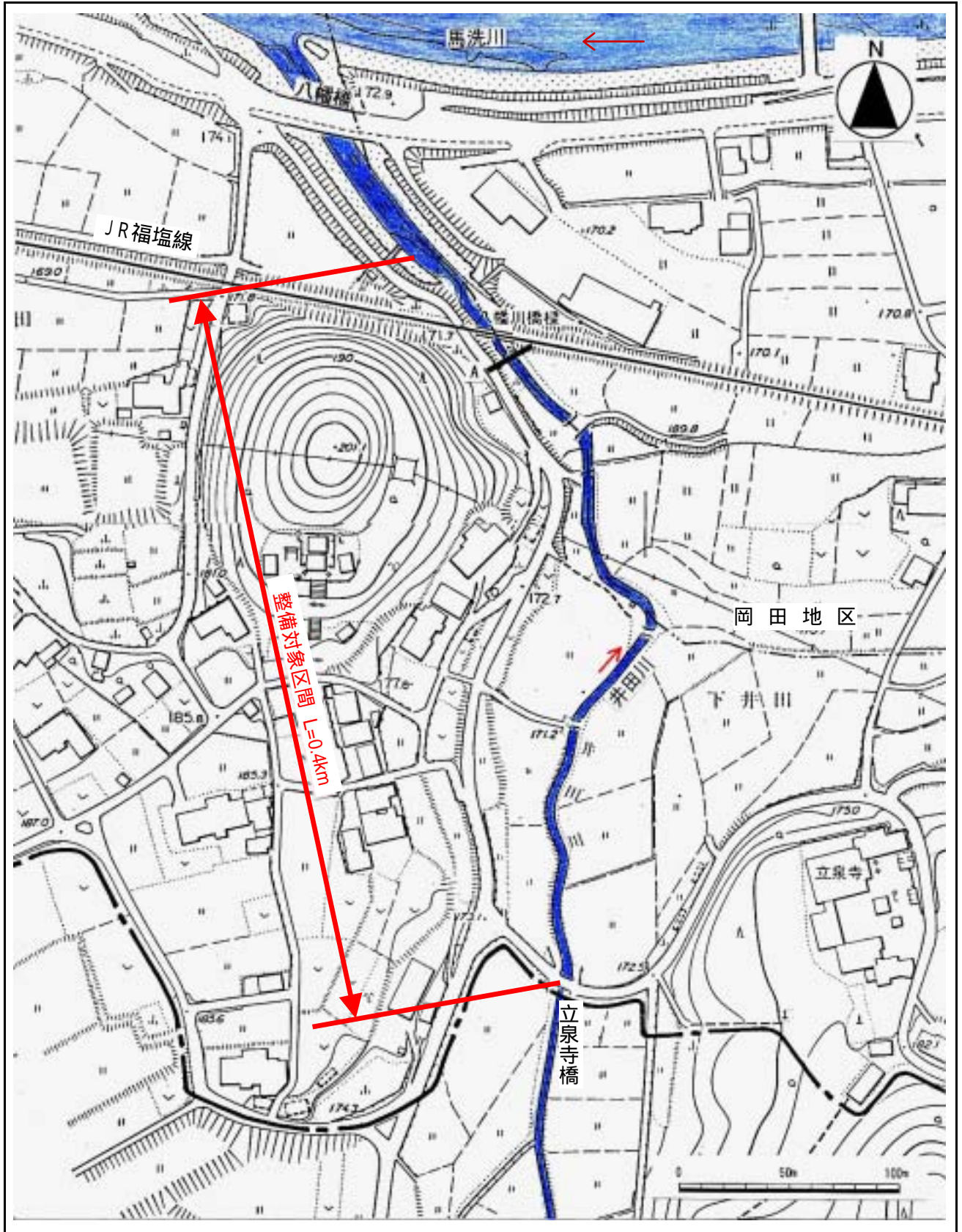


图-3.7(2) 井田川平面图

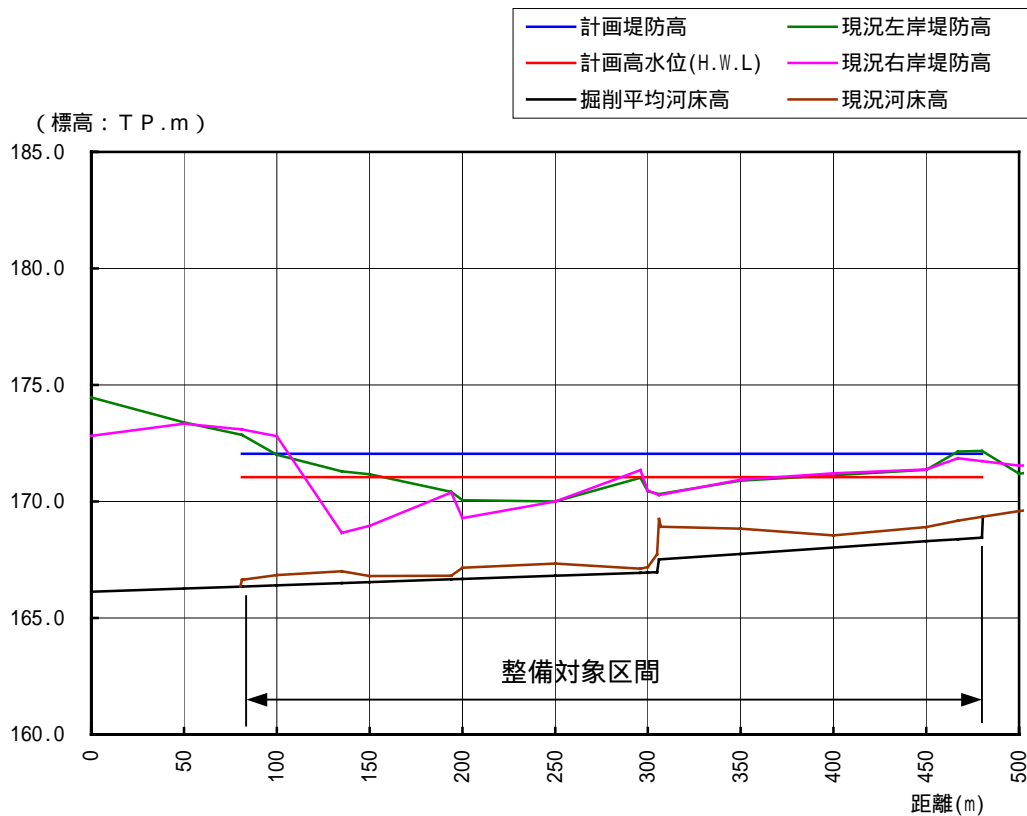
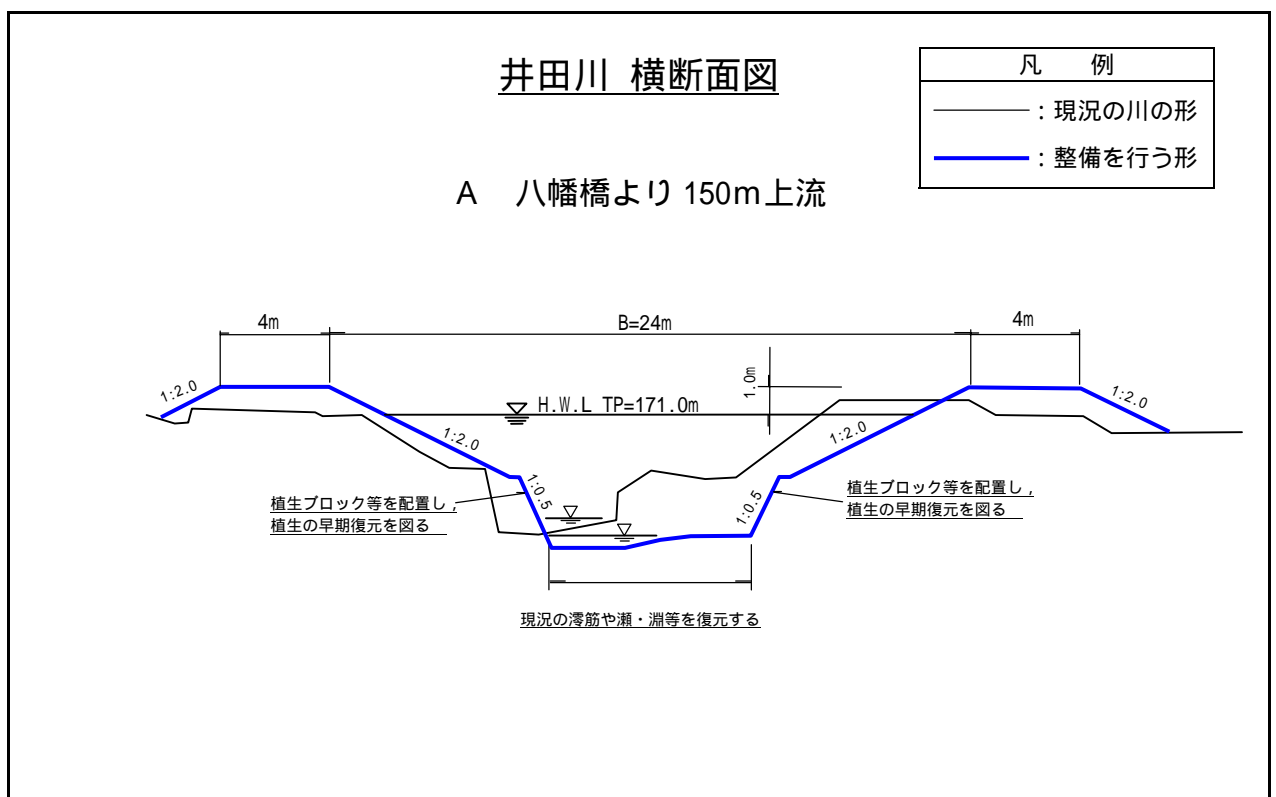


図-3.7(3) 井田川縦断面図



断面図は、上流から下流を眺めたときの形状です。

図-3.7(4) 井田川横断面図

(6) 北溝川

河川改修は、国道 183 号から国道 375 号付近までの 0.8km 区間を実施し、目標の計画高水流量 $10\text{m}^3/\text{s}$ (国道 183 号より上流)が安全に流下できるよう、主に河床掘削により必要断面を確保します。

流量配分図、改修平面図、縦断面図、横断面図を図-3.8 に示します。

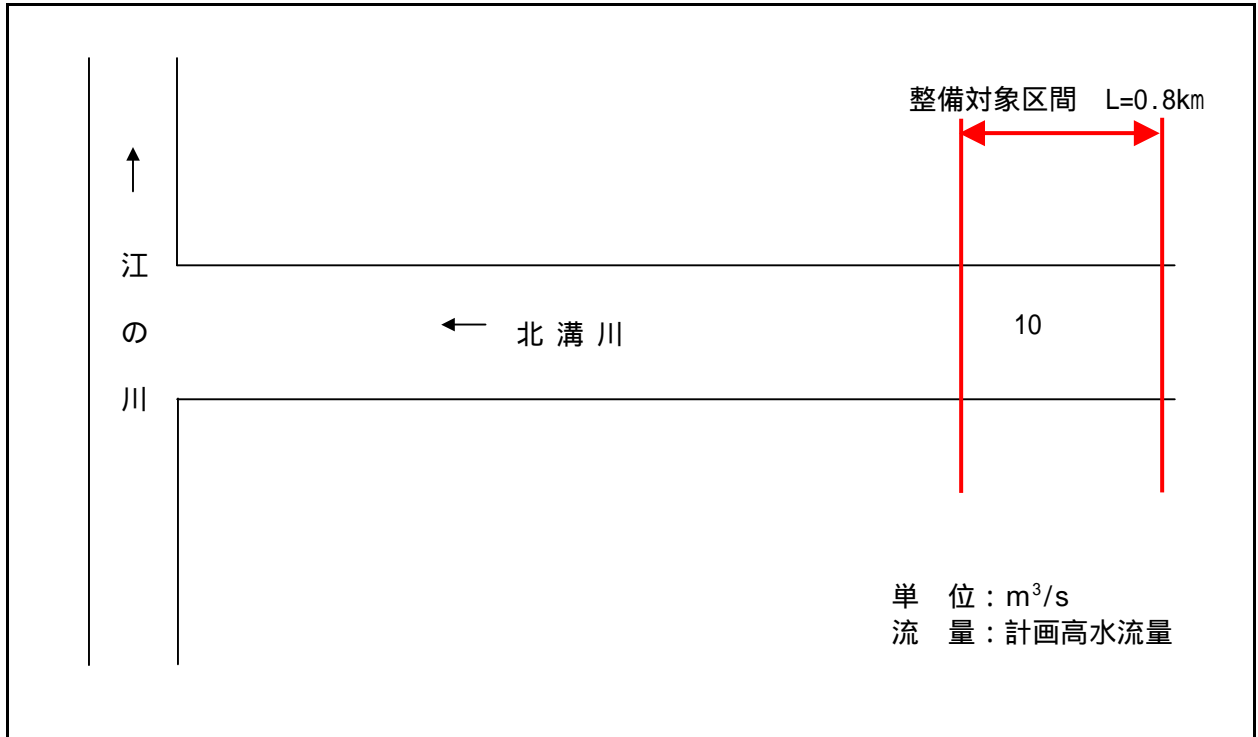


図-3.8(1) 北溝川流量配分図

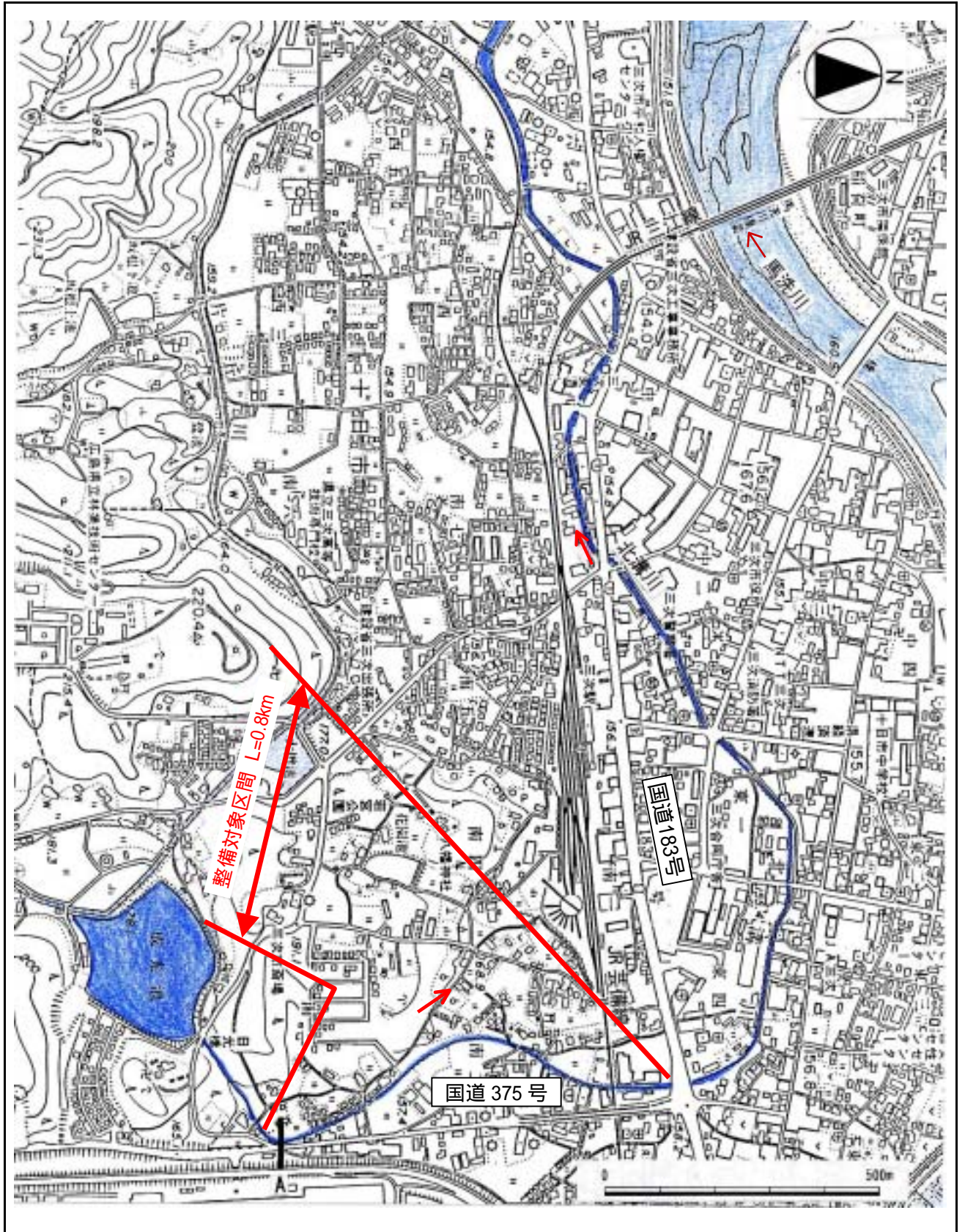


図-3.8(2) 北溝川平面図

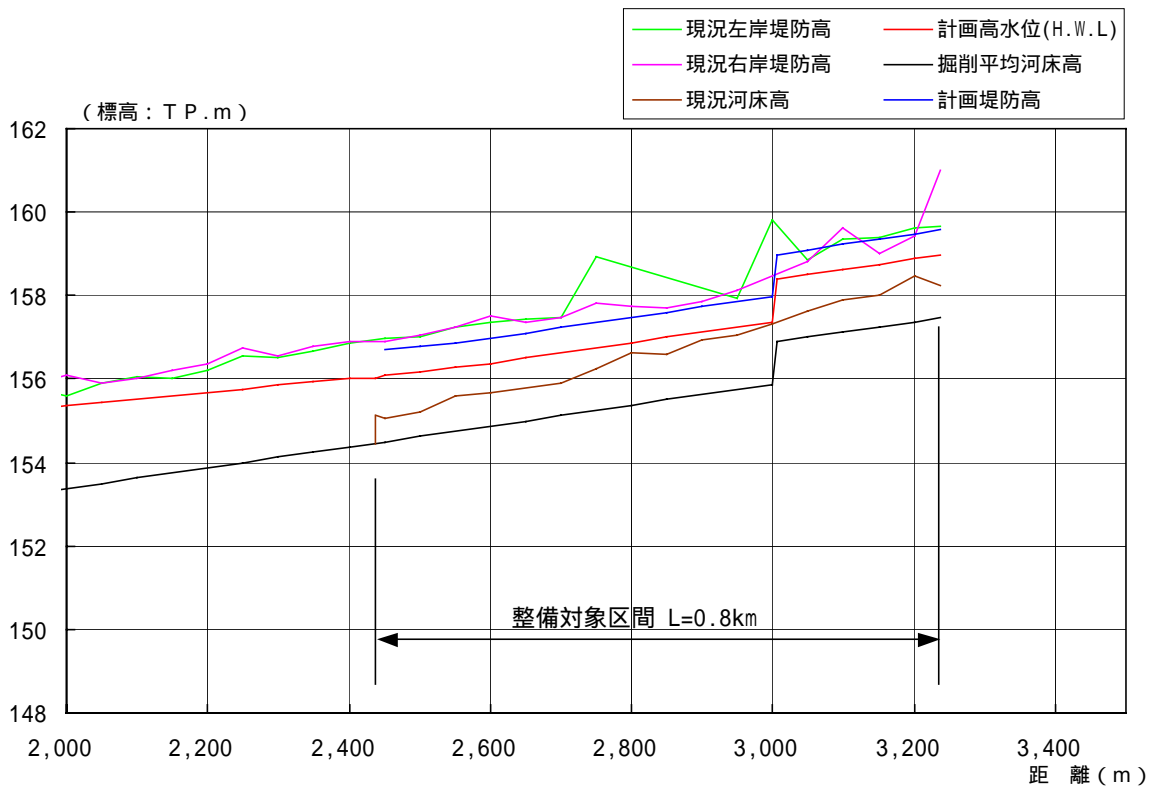
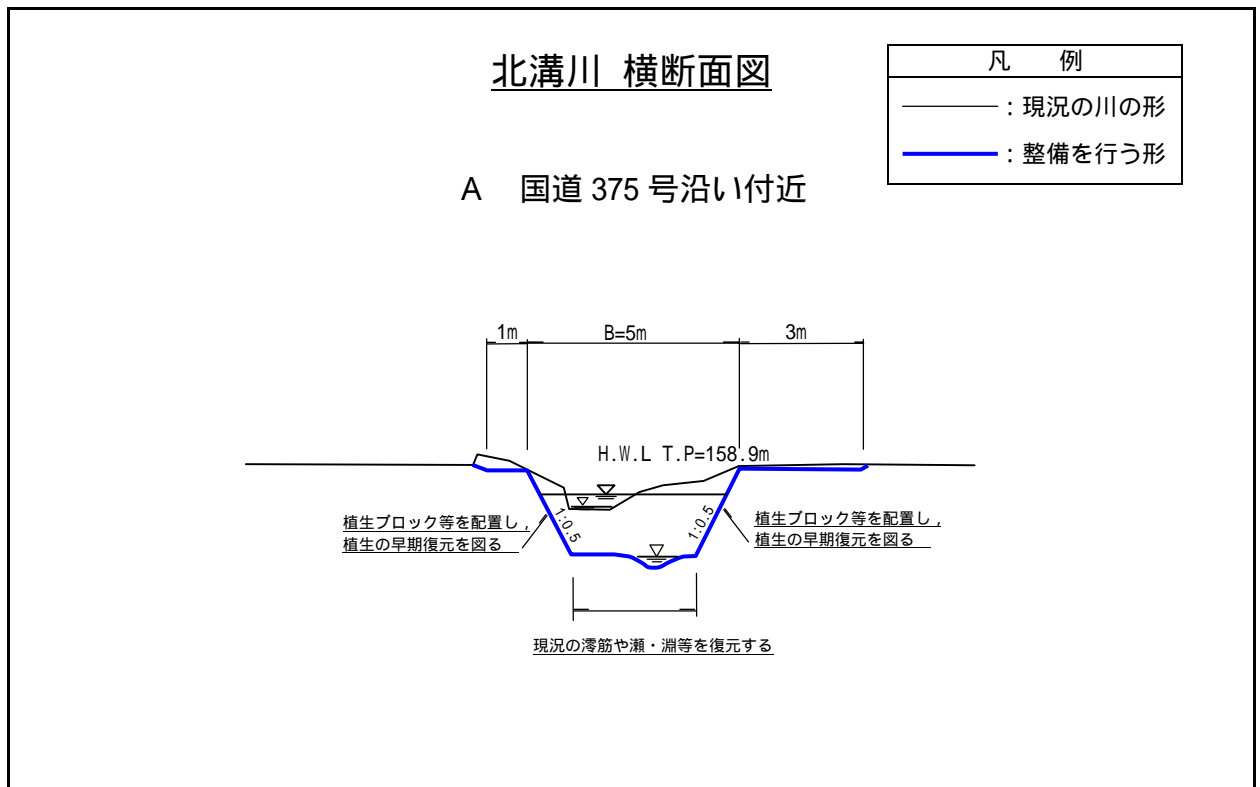


図-3.8(3) 北溝川縦断面図



断面図は、上流から下流を眺めたときの形状です。

図-3.8(4) 北溝川横断面図

3.2 河川の維持の目的，種類及び施行の場所

3.2.1 河川の維持の目的

河川の維持管理は，地域の特性を踏まえつつ，洪水による被害の防止，河川の適正な利用，流水の正常な機能の維持，河川環境の整備と保全がなされるよう総合的に行います。

3.2.2 河川の維持の種類

馬洗川ブロック内の広島県管理区間においては，以下の河川維持を行います。

(1) 流下能力の維持

「3.1.1 河川工事の施行の場所」に示した河川（区間）以外で，平成5年7月，平成10年10月洪水等，家屋浸水被害が生じた地域について，同洪水相当の流量で再び被災することがないように，原因調査を行った上で関係機関と調整を図り，改修や掘削など必要な対策を行います。

(2) 河道の維持

長期の間にまたは出水により土砂が堆積し，治水上支障となる場合は，環境面も配慮しつつ掘削等必要な対策を行います。また，出水による河床低下により，護岸等構造物の基礎が露出すると災害の原因になるため，早期発見に努めるとともに，河川管理上の支障となる場合は適切な処理を行います。

(3) 護岸，堤防の維持

護岸，堤防等の河川管理施設については，法崩れ，亀裂等の異常について早期発見に努めるとともに，河川管理上の支障となる場合は適切な処理を行います。

(4) 植生の適正な維持

良好な河川環境を保全するため，必要箇所の草刈りや植樹の管理を地元住民と協力して行います。